

稲作情報(Vol.9)

令和7年9月11日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

m²当たり籾数はやや少なめ。早めの刈取を心掛けましょう。

8月の気象経過

8月の気温は中旬に平年を下回ったものの、ほとんど平年を上回って推移し、最高気温が30℃を超える真夏日が14日間ありました。日照時間は降雨があった8/10～12は少ないが、その他の期間は多照となりました。降水量は8月上旬に降雨がありましたが、中旬以降は少雨となっています。

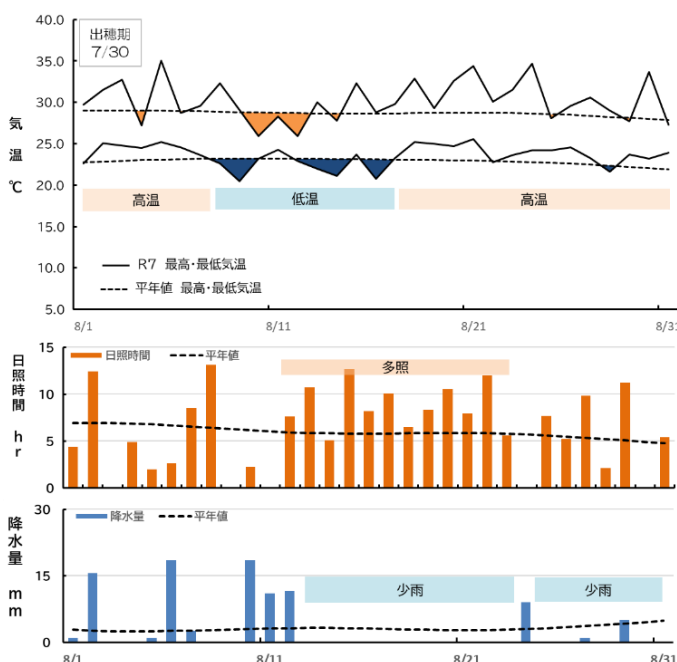


図1 8月の気象経過（アメダス石巻）

水稻の生育状況

＜移植栽培＞

穂数が少なく、m²籾数はやや少なめ

- ◎ ひとめぼれの稈長は平年並、穂長は平年並～やや長くなりました。穂数は平年より少なく、一穂籾数が平年並～やや多くなったことから、m²当たり籾数は平年比84%～99%と、少なめ～平年並となりました。
- ◎ ササニシキの稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並となりました。穂数は少なく、一穂籾数は平年並であったため、m²当たり籾数は平年より少なめとなりました。

表1 出穂25日後調査結果（移植栽培）

品種名	地区名	出穂後25日調査							備考
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	一穂籾数 (粒)	m ² 籾数 (粒)	止葉葉色 (SPAD)	止葉葉位 (枚)	
ひとめぼれ	石巻市広瀬	81.1 (98%)	19.7 (109%)	368 (84%)	76 (116%)	27,879 (99%)	28.8 (+2.1)	12.2 (-0.6)	○は参考値
	東松島市矢本	78.9 (98%)	17.7 (98%)	411 (88%)	60 (96%)	24,765 (84%)	27.9 (-1.3)	12.2 (-0.6)	
	平均	80.0 (98%)	18.7 (104%)	389 (86%)	68 (106%)	26,322 (91%)	28.4 (+0.4)	12.2 (-0.6)	
ササニシキ	石巻市桃生	82.0 (103%)	18.3 (103%)	337 (76%)	72 (99%)	24,329 (75%)	27.2 (+0.0)	13 (+0.1)	
	石巻市稲井	82.8 (104%)	17.9 (99%)	417 (92%)	78 (101%)	32,382 (94%)	28.5 (-2.2)	12.6 (-0.1)	
	平均	82.4 (103%)	18.1 (101%)	376.9 (84%)	74.95 (100%)	28,356 (85%)	27.85 (-1.1)	12.8 (0.0)	
つきあかり	石巻市広瀬	82.7 (101%)	18.3 (88%)	331 (100%)	101 (103%)	33,408 (103%)	25.3 (-6.3)	12.2 (-1.4)	○は前年比

＜乾田直播栽培＞

- ◎ 直播栽培のササニシキの稈長・穂長は平年より長く、穂数も平年より多くなっています。一穂
 籾数は平年並であるため、㎡当たり籾数は平年比 111%と大きく上回りました。
- ◎ 直播栽培のひとめぼれも稈長・穂長は平年並～長め、穂数が多く、一穂籾数も前年以上である
 ため、㎡当たり籾数は前年比 118%と多くなっています。

表 2 出穂 25 日後調査結果（乾田直播栽培）

品種名	地区名	出穂後25日調査							備考
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	一穂籾数 (粒)	㎡籾数 (百粒)	止葉葉色 (SPAD)	止葉葉位 (枚)	
乾直ササニシキ	石巻市河南	88.2 (110%)	18.7 (103%)	608 (113%)	72 (99%)	43.679 (111%)	36.4 (+3.5)	12.4 (+0.0)	
乾直ひとめぼれ	石巻市桃生	93.2 (108%)	20.1 (99%)	496 (114%)	80 (103%)	39.419 (118%)	36.2 (-3.3)	12.0 (-2.0)	() は前年比

今後の管理

1 適期刈取 ～出穂が早く気温も高いため、収穫適期は大幅に早まります～

一般的なひとめぼれ、ササニシキの刈取早限にあたる成熟期は、籾の 80～90%が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から 3 分の 1 程度黄変したときとなります。

出穂後の日平均積算気温からみた刈取適期の目安は表 3 のとおりで、出穂期が早いことと出穂後の気温が高く推移しているため、**刈取適期は 9 月上旬～中旬頃と、平年より大幅に早まります。**

表 3 出穂後の積算気温（9/7 現在）

		管内出穂期		
		始期 7/26	盛期 7/30	終期 8/8
刈取早限	940℃	8/31	9/4	9/14
刈取適期	1,000℃	9/2	9/7	9/17
刈取晩限	1,100℃	9/6	9/11	9/21

※9/7までは石巻アメダスの平均気温、9/8～9/22は2週間確率予測、その後は5カ年平均気温を使用。

表 4 出穂後日数、積算気温による品種別刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940～1,100℃	40～45日
まなむすめ	960℃前後	45～50日
ササニシキ	930～1,150℃	45～50日
みやこがねもち	1,000℃前後	
だて正夢	1,020～1,060℃	50日前後
金のいぶき	1,050～1,150℃	50～55日
つや姫	1,000～1,200℃	

出穂後日数は、気象条件等が平年並に推移した場合を想定。稈実粒数が少ないときや登熟期間の温度が高いときは早まる。1 株総籾数が多いときや登熟期間の温度が低いときは遅れる場合がある。

日平均積算気温 1,100℃超過（刈遅れ）では、食味・品質が低下するので、刈取適期内にでもできるだけ早めに刈り取りましょう。㎡当たり籾数が少ないと刈取適期が早まりますが、籾数が増えても刈取晩限があまり遅くならないことに注意が必要です。倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫します。ひとめぼれでは、平均的穂数株（枝梗数8）の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます。

◎籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始（籾黄化判定開始）

成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ黄化(90%)（7日以内で刈取早限）

成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し(95%)、第2、3位籾が黄化開始(刈取早限)

成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2、3位籾が30%黄化(積算気温1000℃程度)

成熟段階Ⅴ：第2、3位籾が50%以上黄化(刈取晩限)

刈取適期

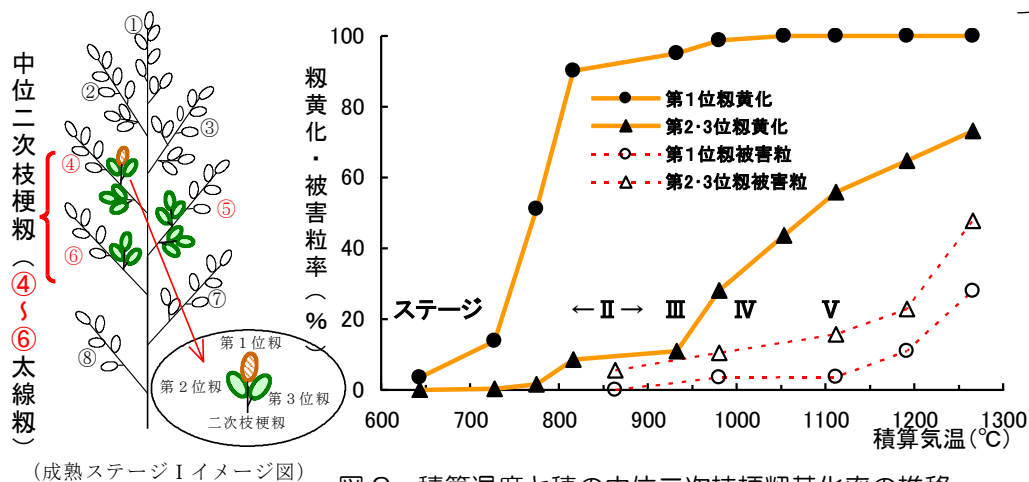


図2 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

2 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

◎収穫作業

- ・ コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分25%以下を目標に刈取作業をしましょう。
- ・ 複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・ 倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。鉄コーティング直播は特に倒伏しやすいので、刈取適期に達したら早めに収穫しましょう。

◎乾燥・調製作業

- ・ 収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後速やかに乾燥機に張り込み送風しましょう。
- ・ 倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥(籾水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・ 正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定することで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は14.5%~15.0%が目標です。
- ・ 籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・ 異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

東北地方 1 か月予報

(9月6日から10月5日までの天候見通し)

令和7年9月4日仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

向こう1 か月は気温の高い状態が続くでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1 か月の天候>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は、高い確率 80%です。

<向こう1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気 温】	東北地方	10	10	80
【降 水 量】	東北地方	40	40	20
【日照時間】	東北地方	20	30	50

<気温の階級の確率 (%) >

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	10	20	70

高温に関する早期天候情報（東北地方）

令和7年9月8日14時30分

仙台管区气象台 発表

東北地方 9月14日頃から かなりの高温

かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.5℃以上

東北地方では、最近1週間以上、気温の高い状態が続いています。向こう2週間の気温も、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高い日が多い見込みです。

農作物や家畜の管理等に注意してください。また、熱中症となりやすい状態が続きますので、健康管理に注意してください。

なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

秋の農作業安全確認運動実施中！

令和7年9月1日から令和7年11月30日まで

重点推進テーマ 徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策